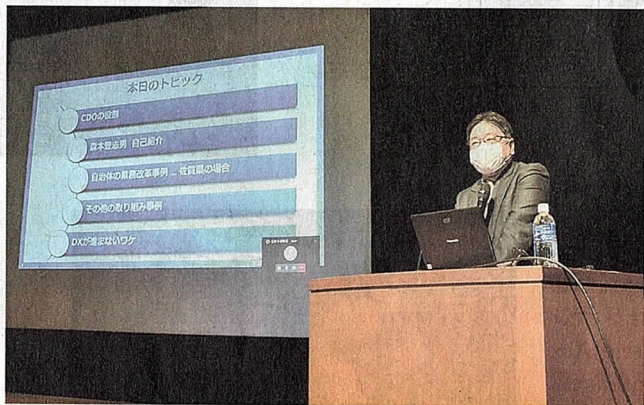


道内一のデジタル都市目指す



「無理なことは言わない。持続可能な業務をもとに考えよう」と訴える森本氏＝19日、旭川市民文化会館

市責任者、職員研修で講演

デジタル技術で旭川市の業務効率化を統括する最高デジタル責任者（CDO）に就任した森本登志男氏

（59）が19日、市民文化会館で行われた職員研修で講演

し、「北海道ナンバーワンのデジタル都市となり、北海道を牽引していこう」と呼び掛けた。

森本氏は冒頭で「業務改革は市民サービスの向上に

つなげることが重要」と述べ、課題を職員とともに解決していく考えを強調。佐賀県をはじめ各地でテレワーク導入などを進めた実績を語り、茨城県境町ではふるさと納税で基金残高を3倍にしたと説明した。研修には約150人の職員が参加した。森本氏は講演後の記者会見で「旭川はテレワークやワーケーションの最適地。デジタル技術で北海道を牽引する日は遠くない」と話した。

森本氏はデジタル技術導入を進める「キャリアアシフト」（東京）の社長。CDOには今月1日に就任し、任期は1年。月1回程度の来庁のほか、オンラインでも助言する。CDO設置は今津寛介市長の公約。

（村田亮）